

■効果の見える治水事業

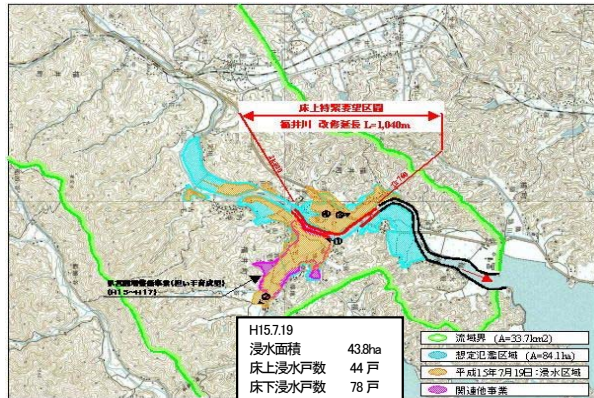
徳島県 福井川 床上浸水対策特別緊急事業

徳島県南部総合県民局県土整備部長 やなもと としお 柳本 敏雄



- 事業内容 福井川は、阿南市南部に位置し、橋湾に流入する流路延長約19km、流域面積約33.7km²の二級河川であります。
昭和30年頃までに1次改修を実施し完了済みでしたが、霞堤方式であったため十分な治水安全度とはえず浸水被害が頻発に起こっていました。
そのため福井ダム建設と相まって昭和56年より改修事業に着手していますが、本川においては、改修事業が進んでいないため、幾度となく浸水被害が発生している状況でした。
特に、平成15年7月19日の豪雨においては、床上浸水44戸を含む浸水被害122戸の甚大な被害を受けました。
そのため平成16年度から床上浸水対策特別緊急事業により、大原堰から山下橋までの区間の改修を実施し、浸水被害の軽減を図っています。
そのほか福井川においては、水位情報の周知や浸水想定区域の公表等のソフト対策により、流域住民への防災情報を提供し、浸水被害の軽減を図っております。

- 施行箇所 阿南市福井町
- 施行期間 平成16年度～平成20年度
- 施行内容 施行延長 L=1.04km
河道掘削、築堤、樋門、取水堰堤改築等



■「福井川の河川整備について」



徳島県阿南市長 いわさ よしと 岩浅 嘉仁

阿南市は、徳島県の南東部に位置し人口は7万8千余。徳島県南部の産業・経済・文化の中心的役割を担っています。市内の主要な河川には、那賀川、桑野川、福井川などがあり、特徴としては蛇行し、急峻な山間部より市内を流下しています。

徳島県南部は、日本有数の多雨地域であり、台風期以外でも他地域に類を見ない豪雨があります。これは、南東海上から流入する湿った空気を直接、山が受け止める地形となっているため、このため、南東の風が強いときや、雷が発生した場合には、とくに、大雨に対する注意が必要と言われています。

1時間降水量の日本記録によると、阿南市福井で昭和27年3月に観測された167mmが第2位となっています。(ちなみに第1位は長崎県長与で昭和57年7月に観測された187mmです。)

また、1日降水量においても那賀町海川で平成16年8月に観測された1,317mmが第1位となっています。

福井川は、徳島県阿南市福井町を流れ、橋湾に注ぐ二級河川ですが、ご紹介のとおり、流域は日本有数の多雨地域にあり、流域面積が小さいうえに急峻な山地の占める割合が大きいという地形特性から、洪水の流出が早く、鉄砲水となり、昔から浸水被害が度々起きています。

最近では、福井ダム周辺において、平成20年6月29日の午前1時頃から6時までの5時間に累計で約330mmの激しい降雨があり、市では、午前1時過ぎに警戒本部を設置。福井川の水位は急上昇し、がけ崩れ、道路冠水、家屋浸水の情報が次々と入り、午前5時頃に避難勧告をする等迅速な対応をしたところであります。

平成8年3月に福井ダムが完成し、従前にくらべ確実に浸水被害を軽減する大きな効果を発揮していますが、下流域の河川改修が途上にあるため、いまだ浸水被害が発生しております。

このため、徳島県においては、平成15年7月豪雨を契機とする「床上浸水対策特別緊急事業」など重点的な河川整備を進めて頂いているところであり、これにあわせ、市においても、福井川水系の市管理の河川において、河道修正や河積確保等の計画を行い、事業化に向けて取り組んでいるところであります。また地元小学校の協力により福井川流域の法面に広葉樹の植樹を行い、保水力を高める保護活動に協力をお願いしているところであります。

今後、福井川をはじめとする河川の安心・安全対策の推進に向け、堤防の工事などハード整備に加えて、情報の周知、避難体制の確立などソフト対策についても、今後とも総合的に取り組むことが大切と考えておりますので、一層のご支援、ご協力をお願いします。



平成20年6月29日梅雨前線豪雨
福井川流域の冠水状況



地元児童による福井川流域における
法面に広葉樹の植樹状況